

## 令和3年度 第2回福知山市総合教育会議

日 時 令和3年10月20日（水）  
午前10時00分～  
場 所 市役所6階 601会議室

### 1 開会

開会あいさつ 福知山市長 大橋 一夫

### 2 協議事項

福知山市教育大綱の改訂について

### 3 閉会

閉会あいさつ 福知山市教育委員会教育長 端野 学

# 福知山市教育大綱（案）

（令和4年度～令和8年度）

令和4年3月  
福知山市



# 1 はじめに

## (1) 教育大綱策定の背景・趣旨

教育大綱は、平成27年度に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」の規定に基づき、総合教育会議での協議を経て市長が策定するもので、教育の目標や振興等に関する総合的な施策について、教育行政の基本となる方針を位置づけるものです。

現在の本市教育大綱は、平成28年5月に本市の総合的な市政運営の計画である「未来創造 福知山」より、教育に関わる施策を基に策定しておりますが、令和3年度末で期間の終期を迎えることから、改めて本市教育の理念・基本方針等を整理し、次期の教育大綱を定めるものです。

この新たな大綱のもと、市長部局と教育委員会が相互に連携し、家庭や地域など教育に関わる全ての方々と協力して、質の高い教育の実現に努めてまいります。

## (2) 計画期間

次期教育大綱の計画期間は、「まちづくり構想 福知山」の計画期間と合わせ、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

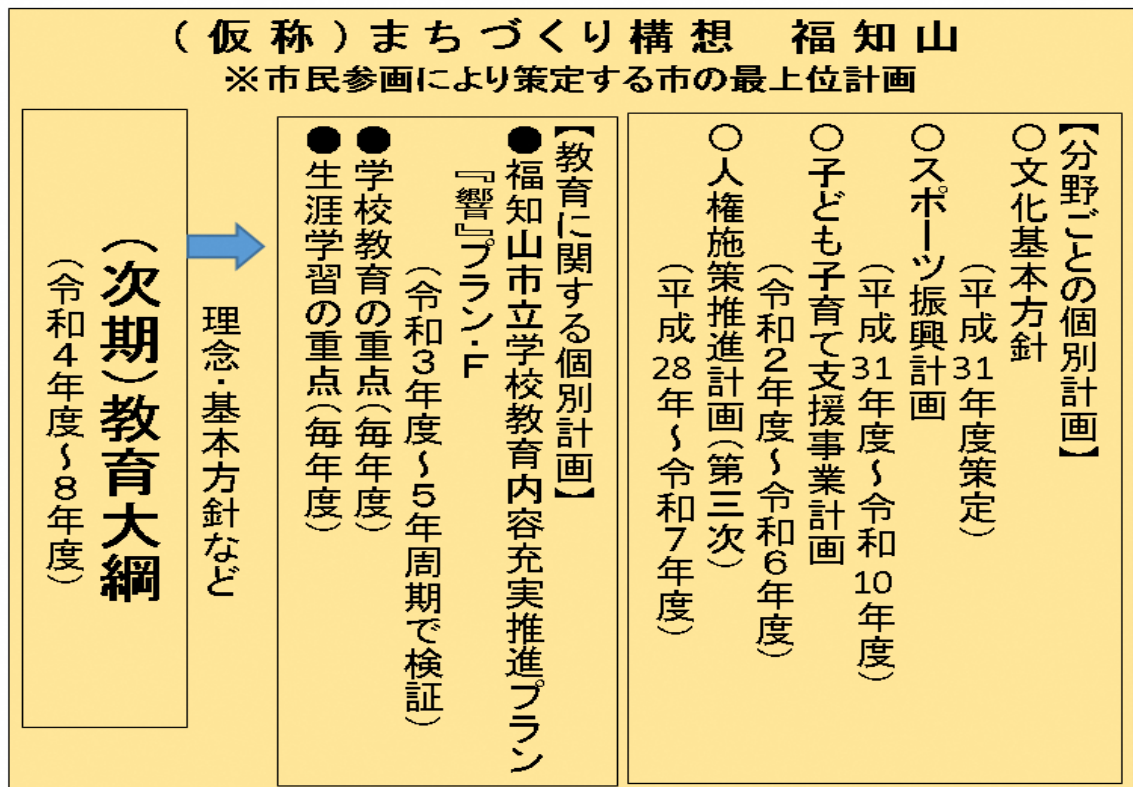
## (3) 大綱の位置づけ

福知山市では、本市の自治推進の最高規範である「福知山市自治基本条例」の精神を基に、本市のまちづくりの指針となる「まちづくり構想 福知山（令和4年度～令和8年度）」を策定しました。

本大綱は、まちづくり構想を基に、教育行政を推進する理念や基本方針を定

めるもので、教育に関する各分野の個別計画と整合し、個別計画で掲げる施策推進の基本となるものです。

【福知山市教育大綱の体系図】



## 2 基本理念

本市では、福知山市自治基本条例前文において、市民が「ふるさと福知山を誇りに思い『幸せを生きる』」ことを謳っています。

この精神を受け、本市では、「自分のために 人のために 社会のために 共に幸せを生きる人材の育成」という基本理念のもと、ふるさと福知山を愛する「郷土愛」に包まれ、不易の価値である「人権尊重」を基盤として「時代の

要請」に定める教育行政の推進に取り組んでいます。

本市教育の基本理念を端的に表す、「教育のまち福知山」という言葉は、昭和50年代のはじめ、本市教育委員会が展開した「こだま教育運動」の中で生まれました。この運動は、家庭と地域社会がそれぞれの役割や責任を自覚し、互いに高まり合おうとする心がこだまし合って教育を尊ぶ気風のあるまちの創出をめざしたもので、まさに共に響き合いながら子どもたちを育てていくという運動「響育（共育）運動」といえるものでした。

今も、その精神は生きており、教育によって学んだことを、自分の幸せや夢の実現のため（自己実現）に生かすだけでなく、人のため（他者貢献）に、社会のため（社会貢献）に生かそうとする志をもった市民が育つまち、そんな市民を育てるまちを目指しています。

## 【教育目標】

自分のために 人のために 社会のために

共に幸せを生きる人材の育成

## 3 基本方針

「まちづくり構想 福知山」において掲げる市の基本政策及び教育の基本理念を具現化するため、以下に掲げる3項目を中心に本市教育行政の推進を図ります。

- ①ふるさと福知山を愛する「郷土愛」に包まれ、不易の価値である「人権尊重」を基盤として「時代の要請」に定める教育を推進していくこと

②社会経済情勢の変化や新たな教育課題等に柔軟に対応していくこと

③子どもから大人まで全ての市民が、生涯を通じて生きがいを持ち、豊かな人生を送れるよう、文化活動やスポーツ、地域活動など多様な生涯学習機会を充実させること

## 【教育に関する基本政策】

### (1) お互いを尊重しながら、ともに育み、ともに育つまち

子どもから大人まで誰もがお互いに、自分らしさを尊重しながら社会生活を営むため、人権文化の創造に向けて様々な取組を行います。全ての人が大切にされる社会、安心して出産・子育てができるまちづくりを進めます。

#### ○主な取組「人権施策の推進」

人間の存在や命の尊厳を侵すことなく、他者の存在を認めて生きるとともに、一人ひとりが、かけがえのない存在であることを認識し、あらゆる機会に、あらゆる方法で実施される人権施策をとおして、人権という普遍的文化の創造と市民が一体となって「共に幸せを生きる」共生社会の実現に努めます。

### (2) いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

福知山公立大学の知見や、地域文化などの活用を図りながら、子どもが学ぶ喜びを実感する教育を実践し、成長の土台作りを行うとともに、誰もが生涯を通じて学べる場を提供します。

#### ○主な取組「学校教育の推進」

すべての子どもたちが互いの人権を尊重し、自らの可能性を自認し努力することで、変化の激しい社会の中で自立して生きていくとともに、主体的に社会と関わり、自らだけでなく他者にも貢献し、さらには社会を発展させていくために必要な資質や能力をその発達段階に依りて適切に身に付けた子どもを育成します。

また、就学前から義務教育期間へと切れ目のない一貫・連携した教育(シームレス学園構想)に加え、大学までの教育機関が市内に整備されている環境を生かし、高等学校や大学と連携し、本市独自の学びを深めます。

#### ○主な取組「生涯学習の推進」

市民が心豊かで充実した生活を送り、いつでも、だれでも、どこでも、多様な方法で生涯にわたって学び続けることができる学習活動を推進します。また、学びから得た成果を活かし実践する場や社会参画の支援します。さらに、様々な関係諸団体と連携し現代的課題や地域課題の解決に取り組む人づくりや「共に幸せを生きる」地域社会の具現化を進めます。

### (3) その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち

スポーツや文化活動などを通して、誰もが心身とも健康で、その人なりの生きがいを持ち、生き生きと活動できる地域づくりを進めます。

#### ○主な取組「文化活動の推進」

文化振興が市民の豊かな生活につながるだけでなく、地域に対する愛着と誇りをもたらし、地域の活力の源となることを目指します。



本市の多様な文化の魅力を継承していくために、知る・見る・感じる機会を提供し、それらに付加価値を付けた活用により新たな魅力を創出し、地域の活性化、地域の誇りや愛着を育みます。

○主な取組「スポーツ活動の推進」

性別や年齢、障害の有無などを問わず、広く市民が関心を持ち、適性などに応じ、「する」「みる」「ささえる」「はじめる」などの関わりをとおしたスポーツ活動を推進し、健康づくりや生きがいづくりに寄与することを目指します。